

富山米新品種「富富富」



デビュー2年目の「富富富」が、昨年産の好評価をより一層高め、富山米のトップブランドとして確立していくよう、こまめな水管理や適期刈取りなど高品質・良食味のための技術対策の徹底をお願いします。

信頼される「安全・安心」な米づくり

消費者に選ばれ、信頼される富山米を安全に生産するため、「とやまGAP」に取り組みましょう。

◆安全な米づくり

農薬・肥料の適正使用、異物等の混入防止等に努めましょう。



◆環境の保全

廃棄物の適正処理、住宅地への農薬散布の周知と飛散防止等に努めましょう。

秋の農作業安全運動(8月20日~10月20日)



秋の農繁期には、コンバインによる事故が毎年多く発生します。余裕をもった作業計画を立てるとともに、事故防止対策を徹底しましょう。

- 1 コンバイン作業時は、衣類が巻き込まれないよう、袖口や裾が締まった服装を着用しましょう。
- 2 詰まったワラを取り除く時は、必ずエンジンを切りましょう。
- 3 後進時には、死角が多いので、補助者による誘導や確認を行いましょ。
- 4 万一の事故に備え、労災保険に加入しましょう。

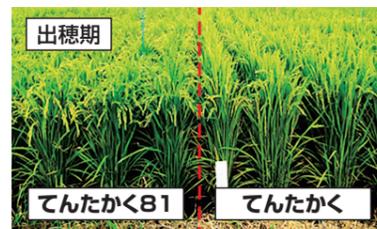
「てんたかく」生産者の皆さまへ(お知らせ)

「てんたかく」は、令和2年産から「てんたかく」を一部改良した新品種「**てんたかく81**」に全て切り替わります。

「**てんたかく81**」は、「てんたかく」と品質・食味等が同等であることから、平成31年3月に富山県産「てんたかく」品種群として産地品種銘柄に設定されました。このため、収穫物は、検査・流通において「てんたかく」として扱われます。

◆「てんたかく81」の品種特性

- 「てんたかく」と比べ、出穂期・成熟期が2~3日程度早い。
- 「てんたかく」と比べ、粒の充実がよく、屑米が少ない。
- 「てんたかく」並みに高温に強く、外観品質がよい。



◆栽培上の留意点

- 施肥、防除等の栽培管理は「てんたかく」と同じです。
- 出穂期や成熟期が2~3日早いことに留意し、適期防除や適期収穫を行ってください。

高品質でおいしい 富山米を食卓へ

「ほおばる幸せ。富山米」



今年も気象変動のなかで、適期の田植えや溝掘り・中干しなどを進めていただきました。1等米比率90%以上を目指して、最後まで技術対策の徹底をお願いします!

● 今後の技術対策 ●

- 1 **刈取り直前まで稲体活力を維持**
- 2 **適正作業で胴割れ防止**
- 3 **カメムシ防除で斑点米発生防止**

「高品質で美味しい富山米」への総仕上げ

～めざせ!1等米比率90%以上～

1 刈取り直前まで稲体活力を維持!

1 こまめな水管理

- 幼穂形成期から出穂までは**飽水管理**
- 出穂後20日間は**湛水管理**
- 刈取り5～7日前までは**間断かん水**
(フェーンが予想される場合は、事前に入水)

水不足でフラフラだ～
たすけて～



水管理のイメージ

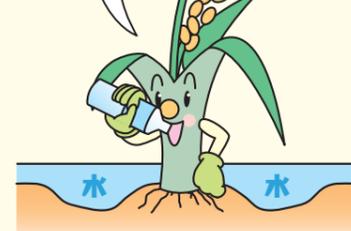
足跡の水を
切らさないように



飽水管理

幼穂形成期から出穂まで

田面が
出ないようにね



湛水管理(水深2～3cm)

出穂後20日間

こまめな水分
補給で最後まで
がんばるよ!



間断かん水

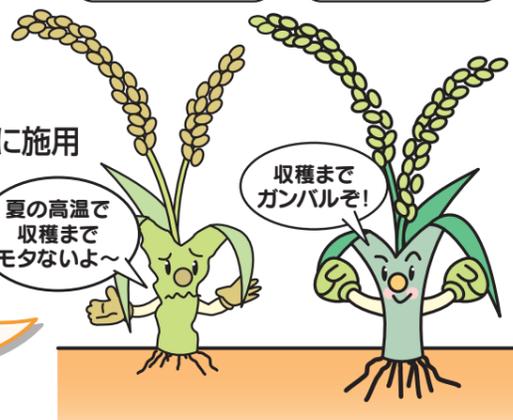
刈取り5～7日前まで

2 穂揃期の葉色を4.2～4.5(砂壤土は4.5)に誘導

- 出穂7日前に**必ず葉色診断**
- 肥効調節型基肥栽培で葉色が薄い場合は
出穂の3日前までに**窒素成分で
0.7～1.0kg/10a**を施用
- 分施肥栽培では、土壌に応じて2回目の穂肥を確実に施用

葉色4.0

葉色4.5



夏の高温で
収穫まで
モタないよ～

収穫まで
ガンバルぞ!

穂揃期の田んぼでは…

穂揃期の葉色が薄いと、暑さに耐えられず、



背白粒



基白粒

が発生します!

2 適正作業で胴割れ防止!

1 気象に応じた適期刈取り

- 高温で収穫が早まっても対応できるよう、
収穫・乾燥調製の準備
- 降雨が続く場合に備えて、手溝の点検



胴割米が
いちばん困るんだよね～



刈取り開始の目安

| 登熟期間の気温 | 積算温度 | 籾黄化率 |
|---------|--------------|--------|
| 平年並み | 1,000～1,050℃ | 85～90% |
| 高温 | 950℃ | 80% |

高温だから、
黄化率80%で
刈取り開始

早く来てくれて、
ありがとう



2 適切な乾燥・調製

- **毎時乾減率0.8%以下**でゆっくり乾燥
- 収穫時の籾水分に応じた乾燥

| 収穫時の籾水分 | 乾燥作業のポイント |
|---------|---|
| 25%以上 | ① 搬入後、2～3時間の通風乾燥 ② そのあと、二段乾燥 (籾水分17%で一旦停止、半日後再乾燥) |
| 20%未満 | 機種標準マイナス5℃の送風温度で乾燥 |

- 仕上げ**玄米水分は14.5～15.0%**に

◆ 1.9mmふるい目の使用で選別を徹底

◆ 施設や設備の点検・清掃を徹底して異品種・異物の混入を防止



やめて～

3 カメムシ防除で斑点米発生防止!

- 「てんたかく」など早生品種は穂揃期と傾穂期の2回防除を確実に実施
- 穂揃期の防除は遅れず実施
- 防除間隔は7日を目安に(間隔が長くなならないように注意)
- 防除後もカメムシの密度が高い場合は追加防除

県内で発生が多いカメムシ類



アカヒゲホソミドリカスミカメ



アカスジカスミカメ